



平成 30 年度新規採用者 (32 名) の記念撮影
辞令交付式の後、本館中庭において行われました



4月号

平成 30 年 4 月 1 日発行
【発行者】〒168-8510
東京都杉並区高井戸西 1-12-1
社会福祉法人 浴風会
TEL (代表) 03-3334-2101
http://www.yokufuukai.or.jp/
【振 替】00140-7-122882
【編集責任者】京極 高宣
【印刷所】株式会社サイド・ビー

平成30年度浴風会予算審査会の頼もしい印象

理事長 京極 高宣



私も社会福祉法人浴風会では、各事業の翌年度資金収支予算(案)の審査を、理事長、専務理事、業務執行理事、本部事務局に対して毎年度末に行うことになっている。私も理事長に就任して8年目を迎えるが、今回ほど充実した資金収支予算(案)の審査はなかったように思われた。

来年度の診療報酬・介護報酬のダブル改定で、国全体としては、各々ほんの少し改善がみられたものの、実際にはかなり厳しく、希望のある予算審査の議論はやりにくい状況にあった。にもかかわらず、今回の私どもの各事業責任者による予算説明は堅実に誠に意欲的なものだったのだ。

予算説明のポイントは次の二つに絞られ、第一に対前年比、収支及び支出で大幅の増減するもの、その理由など、第二に事業計画で新たなもの、その考えなどを述べてもらうこととなっていた。

各説明者は持ち時間30分で、各々実に見事な簡潔にして要領の得た説明であった。特に私が強く印象を持ったことは、各説明者が従来のように正確に会計数字等をふまえ、単に事業拡大の方向を述べるだけでなく、そこに社会福祉法人経営の視点をしっかりと定め、的確な事業計画と数値目標を置き、そのために堅実な手立てを講じようとしていることだった。

私も昨年末に拙書『社会福祉法人の経営戦略』(中央法規出版、2017年12月15日)で、社会福祉法人経営における各事業別の数値目標の的確な設定、特に施設・病院のベッド充足率引き上げや必要な職員配置、地域貢献への大胆な取組などを指摘していた。各事業責任者は、私の献呈した拙書を読んだ影響も多少あるかもしれないが、例年の説明振りとは大きく異なっていた。福祉経営の視点が極めて明解であったことだ。理事長の私にとっても各事業責任者の逞しい

成長は誠に頼もしい限りである。私も拙書で繰り返し述べているよう、改正社会福祉法による社会福祉法人改革は①ガバナンスの強化②運営の透明性③財務規則の強化④地域貢献の充実などを目的としているが、これらは社会福祉法人が活躍する舞台装置の整備である。私も社会福祉法人はその舞台装置の上でどのような経営を行うかを自ら具体的に決定しなければならないのである。

そうした意味から今回の浴風会平成30年度予算審査にはみるべき自主的経営努力が数多くみられたことは喜ばしい。特に来たるべき100周年に向けてより前向きな中長期的事業計画を立て、地域住民の期待に一層応えたい。私も、これまで浴風会の長い歴史と豊かな景観を誇りにしてきたが、今後はそれでは不十分で、浴風会の多くのすばらしい幹部職員(人財)をもっと誇りにしなくてはならないと思っている。いずれにしても社会福祉法人の人事政策はきわめて重要である。

退任のご挨拶

前業務執行理事・浴風会病院事務局長

日置 豊見



平成23年8月1日、浴風会病院の事務局長に就任し、6年7か月勤めさせていただきしました。浴風会の皆様はもとより、近隣の医療機関、杉並区役所など関係機関の皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

私が着任した平成23年は、忘れもしません「東日本大震災」という大変大きな地震が起き、また、強い台風により浴風会正面に立つておりました「くぬぎ」の大木が倒れた年でありました。

あれから7年、被災地の復旧・再建が進んできましたが、まだ多くの方が避難生活を余儀なくされておられます。一日も早く、故郷に戻ることができるよう祈るばかりです。

浴風会においては、平成22年10月に策定された高齢者の福祉・医療施設等の改築・改修・更新に当たって進むべき方向性を示した「基本構想」及び「マスタープラン検討委員会報告書」に基づき、高齢者の医療・介護・福祉の拠点としての「高齢者保健医療総合センター」（以下、「総合センター」という。）の開設をめざし取り組んでいくという時でした。

まず、私が着任して取り組んだのが、「総合センター」の基本設計でありました。その後、実施設計、建設業者の入札、建設工

事（平成25年4月着工）、平成26年10月1日には、旧病院から234名の患者さんをお無事移送し、翌2日には外来診療をトラブルなく開始することができました。

医療機能面においては、地域に開かれた病院を目指し、長期療養的な医療からの脱皮とともに地域包括システムの構築を踏まえ、地域包括ケア病棟、在宅復帰をより強化した医療療養病棟への転換に加え、訪問診療・看護・リハビリなど在宅療養支援の充実を図ってまいりました。さらに、これまで培ってきた認知症医療への取り組みを強化するため「東京都認知症疾患医療センター」の指定を受けました。

また、運営面においては、電子カルテ、外来診療の予約制、院外処方への導入、地域医療・介護連携会議の開催など新たな取り組みも行っていました。

まだまだ道半ばではありますが、こうした取り組みが一步一步前に進んでこられたのも、職員の皆様の理解・協力、そして前向きな努力があったからこそと思っております。同時に、京極理事長の暖かいご指導のおかげと改めて感謝申し上げます。

この7年近くを支えてくださった浴風会の皆様、関係者の皆様、誠に有難うございました。浴風会のますますの発展を祈念し、退職の挨拶とさせていただきます。

人事

（平成30年4月1日付）

業務執行理事

敬称略

退任 日置豊見

（高齢者保健医療総合センター事業事務担当）

後任 伊藤嘉憲

（高齢者保健医療総合センター事業医務担当兼務）

経営職・管理職

◇退職 浴風会病院 事務局長 日置豊見（3月31日）

◇就任 浴風園 園長 小室清吾（本部事務局参事）

浴風会病院 事務局長 君島淳二

（本部事務局企画開発本部）

◇昇任 ケアハウス 園長 小原英嗣（浴風園副園長）

第二南陽園 副園長 上原一朗

（第二南陽園管理課長）

浴風会病院 診療部長 袖山信幸（医長）

浴風会病院 事務局次長 渡部竜太郎

（医療連携室長）

浴風会病院 看護長 麻生香代（看護主任）

浴風会病院 看護長 松下真由子（看護主任）

◇採用 老健くぬぎ 副施設長 和田玲

松風園 相談課長 藤原幸久

認知症介護研究・研修東京センター

研究企画主幹 花田健二

就任のご挨拶

浴風園園長

小室 清吾



4月1日付で、本部事務局から浴風園長に就任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

現在の浴風園は、法人創立70周年記念事業の一環として、平成8年に全室個室に全面改築されたものですが、その歴史は、昭和2年に入居を開始した日本で最も古い老人福祉施設の一つです。園長も私で15人目となります。諸先輩が築き上げてきた歴史と伝統そしてその熱き思いをしつかりと胸に受け止め、100周年に向けてその絆を繋いで行きたいと思っています。

先日、「82歳、長嶋茂雄の今」をテレビで見ました。「プレッシャーを受けられる立場に感謝しろ」「プレッシャーを楽しめ」と何事もポジティブに受け止め力にしていくなミスター節炸裂でした。「努力は人が見てないところでするものだ。努力を積み重ねると、人に見えるほどの結果がでる。」教科書に載る長嶋さんの名言ですが、ご自身もアテネ五輪直前に脳梗塞で倒れ代表監督を断念した悔しい思いを胸に、今なお、東京五輪に向け日々ハビリに励んでいます。私も園長デビューのプレッシャーに負けることなく「明るく楽しく元氣よく！」を motto に風通しの良い笑いの絶えない園づくりに努力します。私が生まれた60年前、ミスターでもデビュー戦は渾身のフルスイングの4連続三振。長い目で温かく見守ってください、お願いします。

ケアハウス園長

小原 英嗣



浴風会への入職は昭和59年4月です。その多くが病院の事務職として勤めておりましたので、利用者の方たちと接する機会ほとんどありませんでした。しかし、平成27年10月に浴風園の副施設長に就任して新しい経験を得ました。浴風園では、利用者の方々と接する機会も多く、様々な考え方やいろいろな体験談をお聞きすることができ大変勉強になりました。病院では得られなかった施設で起こる出来事は私にとって良い経験になりました。また、コミュニケーションの重要さや、思いやる気持ちの大切さも改めて実感することができました。そして浴風園での2年半業務を無事に進める事ができたのもスタッフのチームワークと支えがあったからと感謝しています。

この度、ケアハウスの施設長を命ぜられ責任の重さを強く感じているところです。利用者の方々とのコミュニケーションを大切にし、いろいろな行事に参加して、顔を覚えてもらえるよう努めてまいります。安心安全な生活を過ごしていただくための必要となる対策も忘れずに講じていきたいと考えます。

最近では、私自身も気になる年齢となりました。「心身ともに自立し、明るく豊かな毎日を過ごす」ために、経験の無い新人施設長ではありませんが、ケアハウスのスタッフと力を合わせて参りますので、皆様のご指導・ご支援をお願い致します。

浴風会病院事務局長

君島 淳二



このたび事務局長の任に就くこととなりました君島と申します。よろしくお願いいたします。

浴風会病院が高齢者保健医療総合センターとして生まれ変わって三年半が経過しました。「三つ子の魂」の例えとおり、前任の日置事務局長は新病院に精魂を傾け将来への基盤固めという大きな実績を残されました。その質実剛健な行動は敬服の一言に尽きます。ゆえにその魂が百まで続くかの岐路に立たされてしまったわけで、渡されたバトンの重さに戸惑いを感じています。

医療の分野でも「地域」という単語が頻繁に使われるようになりました。抽象的なことばなので、常に下に「の人」を補足して読むようにしています。患者、利用者、対象者などの「者」という発想ではなく、誰にも住み家がありそこでの尊重すべき役割がある、したがってそれを奪う権利は誰にも無い、という視点が「地域」に立脚した考え方ではないでしょうか。

病院は地域の人を健康にする所であって住み家にはなり得ません。しかし、病院の存在は人々に安心を与え、有形無形に関わらず地域社会を健康にする拠り所となります。当会の基本理念である「地域との協働」は、法人が地域の人の伴走者となって健康を維持していくことの表明と言えます。諸氏のご助力を得て、この拠り所としての魂の継続に力を注いでいく所存です。

浴風会の動き

(3月)



3月30日定年退職者辞令交付式

【本部事務局】

13日 「30年度予算審査会(内部)」

27日 「第4回理事会」開催

「29年度第2次収支補正予算」、「30年度事業計画及び収支予算」、「施設長の人事」、「業務執行理事の任免」について承認されました。

28日 「春季彼岸法要」開催

30日 「定年退職者辞令交付式(対象8名)」開催 (浅井)

浴風会ケアスクール

Caféオレンジリボンウッド

3日 日本私立学校振興・共済事業団

「認知症介護講座」講師…古田医師・宮田・丸山・山崎・服部。参加者31名。

14日 よくふう語ろう会21名参加。

23日 よくふう学ぼう会「生活習慣病対策 健康講座 第2回」く高脂血症と痛風とメタボリックシンドロームについて」講師…山岡医師・加藤。

参加者26名。

12・23日 caféオレンジリボンウッド開店。来店者12日35名、23日71名。

次回は4月9日(月)11時30分～15時 本館1階第三会議室にて開店いたします。パン、焼き菓子、コーヒーの他素敵な小物の販売と、折り紙など一緒に楽しめる手作りコーナーもあります。みなさまのご来店をお待ちしております (鈴木)



【老人福祉事業】

浴風園

(養護老人ホーム)

1日 公益社団法人日本動物病院協会の皆様がアニマルセラピーボランティアとして来園されました。今回も多くの方が参加を楽しみにされており、フラフープを使用したゲームなどに皆様から大きな拍手が送られました。



1991年の広瀬

松風園

(軽費老人ホーム)

2日 ひなまつりには食堂入口にひな人形を飾り、昼食時にチラシ寿司や菜の花のお浸し、桜餅を召し上がっていました。



22日 夜間の火災を想定した防災訓練を行いました。今回は南棟3階より火災発生、消火困難との設定で、火災報知器や初動確認、避難場所への班行動等、有意義な避難訓練となりました。

(宮中)

浴風会ケアハウス

2月28日 歩こう会では、梅の名所・世田谷の羽根木公園に梅見に行ってきました。寒い中でしたが春の息吹を感じるとともにになりました。

16日 春の恒例行事として、百人一首の会を開催しました。

30日 今回の歩こう会は、高井戸駅から神田川の桜並木を見に行きました。(隈本)

【介護保険事業】

南陽園

(特別養護老人ホーム)

3日 ひなまつり。各フロアには雛人形が飾られ、鮮やかにフロアを彩っていました。ひな壇の前には大勢のご利用者が集まり、ひなまつりの唄を歌われたり、写真を撮ったりと楽しい時間を過ごしていました。

を過ごしていました。

25日 「全体家族会」を開催し、30年度の介護報酬改正及び事業計画についての説明を行いました。

今年度もボランティアさんのご協力のもと、たくさんのクラブ活動を行うことが出来ました。来年度も引き続きよろしく願います。(丸山)

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

当センターのデイサービスでは、地域の認知症の方に、機能訓練やレクリエーションなどのサービスを提供しています。

三月末には構内や神田川などの桜が満開となり、送迎バスの車窓や活動室から見える見事な桜にお客様の目も輝き、笑顔も多く見られました。これからも、認知症の方やそのご家族が安心して地域で暮らしていけるようサポートをさせていただきます。(鈴木)

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽に御連絡下さい。

◎電話03-3334-2743

(鈴木・工藤)

第二南陽園

(特別養護老人ホーム)

3日 ひなまつり。利用者の皆さんは玄関に飾られた段飾りの前で記念撮影をされ、昼食にはちらし寿司を召し上がっていました。

3月上旬には、1階中庭の梅が満開

4

になり、お花見を行いました。また、各フロアでもお楽しみ会を企画し、風船バレーやおやつ作りなどご利用者と一緒に楽しいひと時を過ごしました。

25日 全体家族会を行いました。

(山崎)

第二南陽園在宅サービスセンター

(通所介護 介護予防通所介護)

活動室から見える桜も咲いてきました。景色がよいのも楽しみの一つとなつていとお聞きます。

さて、デイサービスでは午前中に入浴サービスも行っています。



手の届かない背中や足先はお手伝いもできますし、職員とのお話が好きと仰る方もいます。ご自宅での入浴が難しい、不安がある際には、ご相談ください。浴室含めたご見学は、午後にお問い合わせいたします。

◎03—3334—2140

(尾滝)

第二南陽園

(特別養護老人ホーム)

3日 ひなまつり。昼食にはちらし寿司、おやつには桜餅を召し上がりました。桜餅の食べ方も、桜の葉ごと綺麗に召し上がったたり、綺麗に葉だけ残されたり、少し口の中で桜の葉の香りを

楽しめたり様々でした。皆さん「美味しい」と笑顔で召し上がっておられました。

11日 お楽しみ会。今回はご利用者の皆様に、苗や球根をテラスの花壇に植えて園芸を楽しんで頂きました。晴れたり曇ったり、少し肌寒く感じられましたが「大丈夫よ、このくらい寒くない」と笑顔で土いじりをされておられました。春が近づいてきたせいか、とても活気のある一日となりました。

25日 家族会。30年度の事業説明、介護報酬改定内容、第三者評価結果についてご説明させていただきました。午後はご利用者と会内の桜を楽しまれました。

(谷口)

グループホームひまわり

3日 ひなまつり。お昼にちらし寿司を召し上がっていただき、おやつには可愛らしいミニケーキと雛あられでお祝いしました。1階の段飾りのお雛様を見に行くとひなまつりの歌を口ずさみ、「もうすぐ春だね」と話されていました。



21日 ぼた餅作り。春のお彼岸にあわせ、おやつにぼた餅を作りました。あんなこ、黄な粉、胡麻の3種類をまぶしていただきました。皆様、甘いものは大好きなので、笑顔で召し上がっていただけました。

(今井)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

平成27年度から、杉並区内の地域包括支援センターに「地域包括ケア推進員」が配置され、様々な地域の声を拾いながら、杉並区としての仕組みづくりを進めています。私達も、今までの杉並区の歴史など、地域の皆様に教えて頂きながら、杉並区民のパワーを感じています。人との関わりを拒否する方が増えていると言われる昨今ですが、それでも無関心ではいけないという住民がいる事を知り、そんな皆様と一緒に、住みやすい杉並区を作って行ければと思っています。今後も、ぜひ、皆様のお知恵を頂ければと思います。

(尾関)

杉並区地域包括支援センター

ケア24高井戸

◎電話03—3334—2495

【病院事業】

浴風会病院

4月から診療報酬が改定されます。今回の改定も地域包括ケアシステムの構築が重点課題の1つで、地域の医療機関との連携推進や入退院支援の推進が必要です。また、重点的な対応が求められる医療分野の中から、認知症の患者さんに対する適切な医療の提供に積極的に取り組んでまいります。

◎03—3332—6511 (代表)

(中澤)

老健くぬぎ

(介護老人保健施設)

4月に介護報酬改定が行われます。老健における「在宅復帰・在宅療養支援」の機能を、これまで以上に強化していくことが明確になりました。老健くぬぎにおいても、ご自宅等への生活を目指し、また在宅での生活を支援していきたいと考えております。

またデイケアでは、リハビリテーションの計画や評価などに更に取り組むこととなりました。ご家族やご担当ケアマネージャー、関連事業所の方々と会議も行う予定です。ご協力くださいますようお願いいたします。

359日 デイケアでは桃の節句にちなんだゲーム「ひなまつり」でポン!を行いました。



(森屋)

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。

◎03—5336—7701 (代表)
◎03—5336—7734 (入所)
◎03—5336—7704 (デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

5日 老人保健健康増進等事業の「行方不明防止研究報告会」を品川区内で開催し、厚労省職員含め、130名の方が参加されました。

3月下旬より、大会議室の外壁及び屋根の改修工事を行っております。

(村上)

浴風会病院 診療案内 ⑩



循環器内科について

循環器内科医長 小出 靖

<循環器内科とはどのような診療科>

循環器内科は、主に狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患、心不全、様々な不整脈、大動脈瘤などの大動脈疾患、ならびに高血圧症を対象としている診療科です。これらの多くは動脈硬化性変化が少なからず関与しているため動脈硬化の進行の予防も対象としています。急性心筋梗塞や重症心不全、重症不整脈などの緊急性を要する病気も含まれるため迅速な判断と的確な対応が要求される診療科でもあります。



<患者様に対する最適な医療の提供>

当院ではご高齢の患者様が大多数を占めるため、診療ガイドラインを基盤としながらも、個々の患者様の身体的背景や社会的背景を最大限に考慮しながらテーラーメイド的な診療方針をとっています。具体的には、個々の患者様の病歴や家族背景、診察所見や心電図、胸部レントゲン、心臓超音波検査や長時間心電図などの当院で実施可能な検査所見を総合的に評価したうえで、十分な説明とそれにもとづく同意をもとに患者様に最適と思われる治療方法を提示しながら診療を進めてまいります。その際、他の治療方法も提示しながら、患者様、並びにご家族の方の希望を最大限に尊重する方向で診療を展開するように心掛けています。



<相談のうえで高次機能病院を紹介>

前述のように循環器疾患のなかには迅速な対応を要求される急性心筋梗塞や重症狭心症、重症心不全、ならびに重症不整脈が含まれています。また、心臓カテーテル検査やペースメーカー埋め込み術など当院では施行できない検査や治療が必要となる患者様も少なからずいらっしゃいます。そのような場合は、患者様やご家族と相談のうえで久我山病院、杏林大学病院や河北総合病院などの高次医療機関へご紹介させていただくことがあります。



<心配な方はご受診を>

循環器疾患は迅速な対応を要求される病気から長期にわたり付き合わざるを得ない病気まで様々な病気が含まれています。動悸や息切れ、胸部不快感、あるいは血圧が高いなどでお困りのようであれば、どうぞ当院循環器内科外来へご相談ください。

循環器外来診療日：火曜・木曜の午後

*診療は予約制となりますので事前にお問い合わせ・ご予約をお取りください。

➡お問い合わせ先：浴風会病院 03-3332-6511 (代)

編集後記

花に嵐のたとえもあるさ
さよならだけが人生だ

唐の詩人于武陵(うぶりよう)の五言絶句「勸酒」を井伏鱒二が訳した有名な詩の一節ですが、その言葉のリズムから広く愛唱されています。浴風会では、今年もケアハウス前に立つ桜が先駆けて咲き始め、ほかの桜も追いかけるように咲き出し、園内はあつという間に満開になりました。そして、突然の風雨に散っていきます。人生は、出会いと別れの繰り返しです。よき出会いの後に訪れる別離。四月は新入職員をお迎えし、そして退職される人との別れの月でもあります。



ご芳志

平成30年2月16日から

平成30年3月15日

多くの方々よりご芳情を
いただきました。

ありがとうございます。

〈金品・物品〉

林 泰様、神垣 範子様、

宮沢 郁子様

●ほか、各施設にもいただいて
おります。

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510 ※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

sounmu2@yokufukai.or.jp

http://www.yokufukai.or.jp/